

## 第13回 西脇市子ども・子育て会議 議事録

日 時	平成30年2月21日（水） 13時30分～15時
場 所	市役所 特別会議室
参加者	藤田委員 武部委員 依藤委員 藤原委員 齋藤委員 伊達委員 遠藤委員 浦川委員 東田委員 北田委員 川崎委員 （事務局）細川福祉部長、清水こども福祉課長、 上田こども福祉課主査、二若こども福祉課主任、 森脇教育部長、竹内学校教育課長 鈴木幼保連携課長、藤原幼保連携課主査
議 事	～議事～ (1) 子どもの貧困対策等について ア 国の取組 イ 西脇市の取組 ～報告～ (1) 平成30年度市内認定こども園・市立幼稚園等申請状況 (2) 子育て応援ライフプラン事業実施状況等について ～その他～ (3) 子育てワンストップサービスについて
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 会議次第</li> <li>➤ 資料1 子供の貧困対策に関する大綱について</li> <li>➤ 資料2 子供の貧困に関する指標</li> <li>➤ 資料3 ひとり親家庭アンケートの結果概要について</li> <li>➤ 資料4 食生活に関するアンケートの結果概要について</li> <li>➤ 資料5 子育て家庭を支援する施策の展開</li> <li>➤ 資料6 平成30年度市内認定こども園・市立幼稚園等申請状況</li> <li>➤ 資料7 子育て応援ライフプラン事業実施状況等について</li> <li>➤ 子育てワンストップサービス紹介チラシ</li> </ul>
傍聴人数	2人

1. 開会

2. 福祉部長あいさつ

### 3. 議事

#### 会長あいさつ

議事(1) 子どもの貧困対策等について	
会長	議事(1)子どもの貧困対策等について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>(【資料1】 【資料2】 【資料3】 【資料4】 【資料5】に基づき説明)</p> <p>平成25年6月、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定されました。地方自治体に対し、「教育の支援」「生活の支援」「保護者に対する就労の支援」「経済的支援」を4つの柱として必要な支援をするよう義務付けられ、平成26年8月に「子どもの貧困に関する大綱」として公表されています。</p> <p>内閣府は、子どもの貧困に関する現在の指標を25項目から33項目に増やす方針で、追加の8項目は【資料2】の下線部分であります。</p> <p>従来は教育環境をめぐる指標が多かったのですが、生育環境に関する項目が増えており、2019年に見直す大綱に盛り込む方針です。</p> <p>問題になっている朝食欠食児童、相談相手が欲しいひとり親、ひとり親の就業問題については、後ほど報告します。</p> <p>次に、市の取り組みについてですが、これまでの会議でも、精神的に不安定な子ども達を含むすべての子ども達を支援する必要があると意見をいただいたことや、国の取り組みも踏まえ、今年度は3種類のアンケートを実施しました。</p> <p>「子ども・子育てに関するアンケート」は前回の会議にて報告しましたので省略しますが、「ひとり親アンケート」と「食生活アンケート」について報告します。</p>
会長	このことについて、ご質問や確認したいことがあれば、ご発言をお願いします。
委員	<p>「ひとり親家庭アンケート」結果についてですが、対象者の内訳や親の年齢は何歳くらいなのですか。</p> <p>また、【資料5】の「精神的な支援」「3世代パパ育て事業」は、総合企画課とありますが、私ども社会福祉協議会も協賛し、みらいえで一緒に事業を行っていることをお伝えします。</p>

事務局	<p>アンケート対象407世帯の内、母子世帯が374世帯で91.9%、父子世帯が31世帯で 7.6%、父母がいなくて養育者が育てている世帯が2世帯です。</p> <p>保護者の年齢は、20～40歳代が多いです。</p>
委員	<p>アンケートで実態が掴めて良かったと思います。</p> <p>気になったのは「食生活に関するアンケート」結果で、小学生回答の中に、朝食を食べない理由に「やせたい」と回答していることです。朝食を食べずに痩せたいはないだろう。その辺り、学校の方でも指導してもらいたいと思います。</p>
会長	<p>こども食堂をやっている側から、ご意見はありますか。</p>
委員	<p>特に、取り立ててはありません。</p>
会長	<p>事業としては、スムーズにしているということですね。場当たりのことではなくて、その後の心遣いや寄添いが子ども達に必要なのだと分かるようなアンケートだったと思います。</p>
委員	<p>こども食堂は、食事の提供をしている場としての意識はあまりなく、みんなで一緒にいると楽しいと思える場づくりをしていると思っています。</p>
会長	<p>貧困対策だけではないことは重々承知していますが、必要な事業なのだと痛感しました。</p>
委員	<p>子どもの貧困についての資料やアンケートから、離婚が一つの要因で、経済的に不安定なひとり親で貧困なのは当然だろうと思われませんが、それに対して手立てはないのですか。</p>
委員	<p>ひとり親だから貧困だということは、私には理解できません。私は当たり前ではないと思います。</p>
会長	<p>一般的には、ひとり親で貧困家庭というデータがありますが、今回のアンケート調査では直接そういうことはないです。</p>
委員	<p>私はこのアンケートからひとり親が貧困だという結論は導き出せないです。両親揃っていても、お父さんは朝早くから夜遅くまで仕事で家族と会えていないこともある。率や件数の問題ではそう感じることはできません。</p>
会長	<p>具体的にこのアンケートからではなく貧困の原因として、両親の離婚やひとり親ということがあり、それについて西脇市で対策を考えているのかというのが委員の意見だと思いますが、福祉事務所としてはどうですか。</p>
事務局	<p>相対的貧困を全国的な指標としており、どちらかの親又は両親ともに非正規雇用であるなど、7人に1人が貧困の状態であるという数字が出ています。</p> <p>それに比べ、ひとり親の場合は2人に1人がそのような状態と</p>

	<p>のことです。そう見ると、ひとり親家庭は経済的にも精神的にも大変不安定な状況であると言えます。</p> <p>このような状況を踏まえると、将来のある子ども達に、早期に打つ手立てはないかと行政とともに市民グループ、各法人の皆さんにも考えていただきたいという思いでおります。</p>
会長	<p>離婚が原因であるならば、対策は離婚の前か後かというご意見かと思えます。こども福祉課としては原因までは考えていないということですか。</p>
事務局	<p>今、困っている方があれば手を差し伸べるのが福祉だと考えています。離婚に至らないような取り組みや対策などがあるのなら、まちづくり活動や生涯教育など、いろいろな方面から、多くの皆さんにも考えていただきたいと思っています。</p>
会長	<p>アンケート結果から課題として、離婚の原因についての対策を講じる必要もあるのではないかとの一言も付け加えてもらえたらいかがでしょうか。</p>
委員	<p>非正規雇用や低賃金の問題を、この会議で議論するのは難しいですが、2人に1人、7人に1人と貧困の子どもはいるわけですから、全体を底上げする対策をお願いします。</p>
会長	<p>貧困対策は重要ですが、根深い問題です。一つずつできることで解決できるよう、市民の皆さんのお力添えも大切だと思います。</p>
委員	<p>学校現場ですが、中学校の3年間でも離婚等で子ども達の家庭環境が変わる場合もあり、毎年、複数件生じています。</p> <p>食生活や学校経費など経済的、精神的に子ども達が苦痛を感じ、それが学校生活に反映して不安定になり、学校活動に興味を無くしていくこともあります。学校としてどう支援していくのか、大事な問題となっています。</p>
会長	<p>食生活アンケートで、朝食を食べない理由に「おなかがすいていない」と回答している小中学生がいますが、本当にそうなのか。親に気を遣っているのではないかと感じてしまうので、その辺りも考慮していきたいと思えます。</p> <p>他に無ければ、今後は、事務局の方で、本日の会議での委員の皆さんからの意見を参考に、また、本会議で協議を必要する場合は、会議を開催し、事業実施等を進めていただきたいと思えます。</p>
<b>報告(1) 平成30年度市内認定こども園・私立幼稚園等申請状況について</b>	
会長	<p>次に、報告(1)平成30年度市内認定こども園・市立幼稚園等申請状況について事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	<p>(【資料6】に基づき説明)</p> <p>利用申し込みの総合計について、昨年同時期に報告した平成29年度の申請状況報告では、0歳児が63人、1歳児が149人、2歳児が180人、3歳児が269人、4歳児が281人、5歳児が308人、合計1250人で、27人増となっています。</p> <p>比較して、0歳児が10名増、2歳児が29名増で、希望の施設や保育の必要性等を考慮し、利用調整を行っています。</p> <p>現在、一次の調整は終わっているのですが、申請者へ決定通知を送付しています。</p> <p>待っていただいている御家庭も若干ありますが、3～5歳児については待機はなく、全員受け入れていただいています。</p>
会長	<p>このことについて、ご質問や確認などあればご発言をお願いします。</p>
委員	<p>待機児童が増えてきていると聞きました。以前の会議ではそういう状況はないと聞いていたが、西脇市でも待機児童が出始めているのですか。</p>
事務局	<p>利用調整をしている段階でお待ちいただいていることから、そういった情報が飛び交っているのではないかと思います。平成30年度の4月は、0～2歳児の利用申し込みが増えているため、受入れが難しくなっています。例年は年度末の転勤等で空きが出て、受入れが可能になりますが、今の状態であれば、何名か待機児童の定義に値することになると考えています。</p> <p>毎年、国に4月1日現在、10月1日現在でそれぞれ報告をしており、4月1日現在では待機児童は出ていませんでしたが、来年度は出ることが予想されます。</p> <p>原因については、0歳児は3人に1人、1・2歳児は6人に1人の職員配置基準があり、保育教諭の確保が困難な状況であり、受入れが難しい状態が出ています。</p> <p>また、過去5年では、数パーセントずつですが低年齢児の申請が増えてきています。それは4・5歳児の保育料無償化等、保育料の費用負担の軽減で弟・妹を預けようとするのも要因の一つと考えています。</p>
会長	<p>今後、そういった傾向が出てくるのですか。</p>
事務局	<p>今後、国の働き方改革で、共働きの家庭も増え、子どもを預けて、働く人は増えるのではないかと考えられますが、西脇市ではここ数年の出生率が下がってきていますので、好ましくはないですが、申し込みの増加は一過性の可能性もありますので、今後、注視していかなくてはならないと考えています。</p>

委員	<p>保育料を無償化すれば利用したい人が増えるのは当たり前で、対策が後手だと思います。</p> <p>あるこども園では、保育教諭の退職により人数が足りないと聞きました。職員の確保ができていないことについて、説明をお願いします。</p>
委員	<p>こども園の保育教諭の退職理由で一番多いのは結婚・妊娠によるものです。その代わりに、育児休暇明けや、管理職になって現場にと戻ってくる職員もいます。</p> <p>全国的に職員数の不足の問題があり、引き抜き合戦が起こっているのが現状です。県内でも、臨海部では自治体により資格者の争奪が起こっております。それらをどう食い止めるのかは、お金だけではなく、保育教諭の働き甲斐、働く魅力を打ち出すことであろうと思います。</p> <p>全体の話に戻ると、こども園は一日12時間半、月曜から土曜まで開け、日曜は休日保育をしている。とても厳しい職場になっています。議会にもお願いをしていますが、根本的な解決は国全体の問題であります。</p> <p>働き方改革など、国の施策の矛盾は承知していますが、そこで手を差し伸べなければならない多くの子どもがいます。</p>
委員	<p>私は0歳児を預けなくて済む社会にしていくことが、子どものためになるのではないかと考えています。西脇から変えていくことはできないでしょうか。</p>
委員	<p>目の前に困っている0歳児がいるので、預からなくてはなりません。育児のストレスを抱えている保護者がいることや、育児休暇の取得制度の有無やその期間は企業によって異なります。</p> <p>この会議には、子ども関係の担当課しか参加しておられませんが、県の子育て会議は、すべての課が出席しています。</p> <p>私は、原因は多岐にわたると考えており、そこはみんなで知恵を出し合っていかななくてはいけないと思います。</p> <p>こども園の役割は目の前の子どもをなんとかすること。しかし、子どもが大変だからと職員に一日12時間半、週6日も働けとは言えない、職員の生活も大切ですので、そこのバランスで悩んでおります。</p>
会長	<p>これは全体で考えないといけない問題だと提議していますが、話が大きくなると、この場では済まないことになりますので話を戻します。</p> <p>認定こども園についてですが、西脇市での小規模保育園の実態はどうなのですか。</p>

事務局	平成28年4月に創設された企業主導型保育所は、市内でも開設されています。この施設は認可外施設ではありますが、公費が入り、企業の従業員のための保育施設で、地域の子どもの枠も設定されています。
会長	それを踏まえた上でも待機児童は出てくるのですか。
事務局	市は企業主導型保育施設に関して直接関与しておりませんが、認定こども園とは違った利用もあると聞いていますので、今後のニーズを見ながら考えていかなければならないと思います。
会長	認可外保育園の実態も踏まえて、待機児童についてデータを出していただきたいと思います。保育教諭の不足についても、給料を上げるからといって保育教諭が増えるわけでもない。キャリアアップの研修に参加できない状況でもあります。
委員	国の施策で企業や法人が施設を建てやすい環境が整備されるほど、保育教諭の不足が生じることとなります。西脇市内でも小さな施設が二つ増えるだけで、保育士が3～7人必要になります。
会長	たとえば、子どもが病気しているのに、病児保育に預けることはいかがなものかと思いますが、北欧では、親が仕事を休んで子どもを看る社会であります。 社会を変えるのは簡単ではなく、日本の社会全体で考え方を考えていかないといけません。 ただ、委員の言われるような社会を作るには声を上げ続けて提言していく形でしか、今のところ方法はないので、これ以上議論しても何も出ません。 今後、多くの市民の集まりの場で、こうした議論をしていただきたいと思います。
委員	病児保育については、学校現場でも、体調が十分でないまま登校させるような保護者がいます。 高熱を出した子どもの対応で、養護教諭が親に迎えに来るよう連絡しても、仕事ですぐに行けないと言われる家庭も当然あります。どのようにケアしていくかの基準が、サービスとともに形を崩していく現実があり、教育の問題にもなっています。 【資料5】にもありますように、小・中学生に家庭のあり方を学ばせる機会があります。「3世代パパ育て事業」は、男子、女子ともに家庭の構成員として一緒に家事育児をする将来のお父さんお母さんを育てるための初期の段階で、中学生からやっという学習時間を割いています。 離婚の原因にもあるDVに関しては、中学生の場合は好きな人からそういうことをされたらどうするか学習や、小さい子ども

	<p>を養育する親のストレスについては幼稚園に出向き、小さいお子さんを抱っこしてその先生方から学ばせてもらう課外授業もあります。</p> <p>教育の分野にも年間通して多くはないですが、根本部分を解消していくといった状況です。</p>
会長	<p>貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>しばざくら幼稚園の利用申請は増えているのですか。</p>
事務局	<p>3～5歳児合わせて今年度は52人、平成30年度は76人に増えています。</p>
委員	<p>労働者の代表としては頭の痛いところです。今回の国会でも働き方改革は上程されましたが、裁量労働制に引っかかり、先送りとなりました。</p> <p>働き方改革は働かせ方改革ではないかと思えます。貧困に関わる方々は裁量労働制に関わる方々が多いと感じています。</p> <p>制度を進めると、片方は立つが、片方が立たないと矛盾を感じる場所がありますので、社会の仕組みを変えないと難しいのではないかと思えます。</p> <p>西脇市の新規事業に、学校でこれから大人になる子どもたちをどう教育するか。離婚やひとり親はケースによるが、貧困に関わる場所は早期からの教育によって地道に粘り強く育んでいかなければならないと思えます。</p> <p>子どもの貧困は大人の貧困につながっているので、その大人をどうするのか、具体的施策は難しいかもしれませんが、この学び直しの機会は必要で、事業が直接防止につながるといいと思えます。</p> <p>働き方改革については、もし法案が通ると、人不足のこども園等がさらに大変になるのではないかと感じています。</p>
<b>報告(2) 子育て応援ライフプラン事業実施状況等について</b>	
会長	<p>報告(2)子育て応援ライフプラン事業実施状況等について事務局から報告を。</p>
事務局	<p>(【資料7】に基づき説明)</p>
会長	<p>このことについてご質問、確認したいことがあればご発言をお願いします。</p>
委員	<p>子育てに関しては専門家や市役所の他の部署、市長も集まって、意見を全部集めて日本を動かせるように話し合っていきたいと思えます。</p>



会長	オール西脇で教育、福祉、医療すべて合わせて西脇の在り方を話し合い、この会議で発信できたらと思うので、市の方でも検討をお願いします。
<b>その他(1) 子育てワンストップサービスについて</b>	
会長	その他(1)子育てワンストップサービスについて事務局から報告をお願いします。
事務局	(子育てワンストップサービスについて説明)
会長	このサービスの利用時間は何時間ですか。
事務局	24時間対応です。
会長	周知してほしいということですね。 他に、今日初めて参加した委員、子ども子育てについてご意見はありませんか。
委員	<p>この場で議論していることは子どもを思っていることです。PTAは各町で何人か委員を出すと言われていて、ひとり親の方もいるが、その方も子どものために行事に必ず協力しておられます。</p> <p>こども園のことは劇的に変わってきて、私の子どもが小さいときは0～2歳児は保育園で見てもらえなかったという記憶がありますが、今は両親が仕事に行ける環境ができており、今日話をしていた離婚などの問題にはまだ手をつけられていないのかもしれない。</p> <p>西脇市に住み、育ってきた人間として、西脇市の子どもたちのことを一番に考えたいと思っているので、積極的に参加していきたいと考えています。</p>
会長	<p>それでは、以上をもちまして本日予定しておりました議事をすべて終了いたしました。</p> <p>議事進行に御協力いただき、ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局へお返しします。</p>

#### 4. 事務連絡

#### 5. 閉会

教育部長あいさつ